

しゃきょう
「社協」は、みなさんの参加とささえあいで、地域福祉をすすめる福祉団体です。

Y ホームページアドレス Y
http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/shakyo/



よこすか



しゃきょう since 1951
社協だより

YOKOSUKA

編集・発行 季刊

社会福祉法人
横須賀市
社会福祉協議会
〒238-0041
横須賀市本町2-1
TEL. 046-824-3435
046-821-1301
FAX. 046-827-0264



子安の里

2014年 スタート!

横須賀市社協へ地域福祉の勉強に来た大学生が言いました。「周囲の人たちの支援を受ける方は、「受け手」であるだけでなく、その方がいることで周囲が動き、助け合う気持ちが根付いて、地域のネットワークづくりに貢献しているのですね」

地域に暮らすすべての人が、共に生き、支え合うまち—横須賀中が温かさに満ちあふれるよう、新しい年も横須賀市社協は皆様とともに地域福祉を進めてまいります。



赤い羽根
共同募金

10月1日▶12月31日

平成25年度 共同募金へのご協力
ありがとうございました。



共同募金は、「たすけあい」の精神に支えられています。

募金活動に携わって下さった方々、寄付して下さい下さった方々、皆さまの「たすけあいの気持ち」ありがとうございました。

お寄せいただいた寄付金は、地域の社会福祉推進のために役立てられます。



街頭募金の様子 (汐入駅前ロータリー)

～こんなところに共同募金～

- 地区社協活動へ
“ふれあいいきいきサロン”“子育てサロン”など身近な地域活動のために
- 市社協事業へ
“高校生福祉体験学習”“ハンディキャプ送迎サービス”など地域福祉推進のために
- 社会福祉施設や団体等へ
古くなった施設補修や備品の購入など利用者の方々のために

募金の結果は平成26年4月号にて報告します。



『よこすか社協だより』は、みなさまからの賛助会費ならびに共同募金配分金を財源として発行しています。

計画に取り組むのは「わたしたち」&「福祉施設・関係機関」 みんなで進めよう! 第4次 地域福祉活動計画

〈解説シリーズ第3回〉

計画期間：平成25年4月～平成30年3月

第4次地域福祉活動計画では、各取り組み目標に向かって「わたしたち」「福祉施設・関係機関」ができることを挙げています。

基本理念 わたしがつくる みんなでつくる 一人ひとりが“住みやすい”まち 横須賀

基本目標と取り組み目標

人と人とのつながりを大切にしよう

誰もが自分らしく暮らしていくことができるように、多様な支え合いを形にしていこう

ご近所同士仲良くして地域の力を高めよう

地域にはさまざまな人たちがいることを理解し、誤解・偏見のない地域づくりに努めていこう

自分にあった情報を得て役立てよう

住民一人ひとりが参加して わがまちの地域福祉を進めよう

⑤ 身近な地域の福祉活動を進めていこう

⑥ さまざまな人々たちを支援できる活動を進めていこう

⑦ さまざまな機関・団体・個人が協働して、大きな力を生み出していこう

取り組み目標⑥

《個別目標》

わたしたちができること

- ① 日ごろのあいさつや声掛けなどをとおして、困ったときに頼みやすい雰囲気や関係をつくっていこう
- ② 困ったときに身近に相談できる人・場所などの情報を、日ごろからわかりやすく地域へ伝えていこう

福祉施設・関係機関ができること

- ① 日ごろから地域住民や活動者・団体とお互いに相談しやすい関係をつくっていこう
- ② 困ったときに身近に相談できる場所として、日ごろから施設・機関の情報をわかりやすく地域へ伝えていこう

市社協の取り組み方向

☆人や地域とのさまざまなつながり方に合った支援活動・方法の検討

いまずぐあなたのまちでも!「活動ヒント集」

- ① 近所付き合いの希薄化により、住民の様子が変わりづらいため、自治会では住民が参加する行事を多く開催して、コミュニケーションをとる努力をしています。
- ② 子どもの登校時の見守り活動では、できるだけ名前を聞いて、名前で呼んであげると子どももよく反応してくれますよ。

取り組み目標⑦

《個別目標》

わたしたちができること

- ① 地域内のさまざまな福祉関係団体と協力し合おう
- ② 地域内のさまざまな団体や地元商店、企業、学校、福祉施設・関係機関、個人など地域資源同士がお互いの得意分野を持ち寄って協力していこう

福祉施設・関係機関ができること

- ① 地域内のさまざまな個人、団体や地元商店、企業、学校、福祉施設・関係機関など地域資源同士がお互いの得意分野を持ち寄って協力していこう
- ② 保健福祉大学など、横須賀らしい地域資源と共に協力できる関係をつくっていこう

市社協の取り組み方向

☆地域福祉の推進に向けたさまざまな地域資源の協働の検討

いまずぐあなたのまちでも!「活動ヒント集」

- ① 民生委員児童委員からの依頼で、社会福祉推進委員と自治会が高齢者宅の見守り訪問を実施しており、訪問を通じて関係者の連携と高齢者世帯との信頼関係が築かれるようになりました。
- ② 地域住民など周囲の人が障害者を支援する場合、無理に生活に介入せず、あいさつや声掛けなどで見守りながら、相談機関や保健所などと連携して接していけるといいですね。

一人ひとりが自分のできることで よこすかの福祉をハッピーに!

第4次地域福祉活動計画では、一人ひとりが無理なく、できることに取り組もう!と呼びかけています。

地域福祉活動は、身近なところで、気軽な気持ちで多くの方々が参加しています。新しい年、一緒によこすかの福祉をハッピーにしましょう!



地域福祉活動① 赤い羽根共同募金

社会福祉施設を利用する方々や地域福祉を進める活動、大規模災害時の災害ボランティア活動を支援するために、毎年10月1日から12月31日の3ヶ月間実施されています。

各家庭からご協力いただく戸別募金、駅周辺や商店街で行なう街頭募金など、共同募金にはさまざまな募金方法があります。募金活動に参加してくれる方々、募金の呼びかけに協力してくれる方々・・・昭和22(1947)年の第1回実施以来、共同募金は多くの方々の助け合いの気持ちに支えられています。

地域福祉活動② 社会福祉推進委員〈平成26年4月1日 一斉改選〉

一人暮らし高齢者等の見守り活動をはじめ、赤い羽根共同募金活動(戸別募金)、ふれあいお弁当の配食、ふれあいサロンの支援など、地域の中でさまざまな活動をしています。任期は3年で、4月1日には一斉改選を実施します。改選にあたっては「町内会・自治会長が担当区域の民生委員児童委員の意見を聴き、その協力を得て推薦」いただくことになっており、市内各地域ではちょうどこの1月から2月にかけて次期候補者の調整が行われます。

町内会・自治会役員や民生委員児童委員等から「社会福祉推進委員になりませんか」とお誘いがあったときは、ぜひ皆さんのお力を貸してください。

地域福祉活動③ ボランティア活動

「子育てや仕事が一段落して、時間に余裕ができた」「新しいことを始めたいけれど、何をしたらいいかわからない」・・・そんなときこそ、ボランティア活動始める絶好のチャンスです。「え?こんなことでもいいの?」という小さなことが、他から求められていることもあるようです。好きなこと、得意なことを活かすことからボランティア活動のイメージをふくらませて、ボランティアへの扉を開けてください。

民生委員児童委員の一斉改選が行われました

平成25年12月1日、地域の相談役、そして地域福祉の推進役でもある民生委員児童委員ならびに主任児童委員の一斉改選が行われました。

今回の改選から増員され、横須賀市の定数は578人になりました。

取り組み目標⑤

《個別目標》

わたしたちができること

- ①あらゆる地域住民が参加できるような行事や活動を企画し、働きかけをしていこう
- ②特技や趣味活動など、誰もが気軽に地域福祉活動へ参加できるきっかけをつくっていこう
- ③行事・催しの参加者にも活動の手伝いをお願いしてみよう

福祉施設・関係機関ができること

- ①施設と地域が一体となって、地域の行事や活動に協力したり、自らも企画・実施してみよう
- ②地域住民が主体的に福祉活動に取り組むことができるよう支援しよう

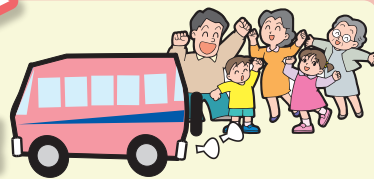
市社協の取り組み方向

- ☆各地区社協における地域福祉活動計画の策定
- ☆各地区社協の活動の充実・強化に向けた検討

いまずぐあなたのまちでも!「活動ヒント集」

- ◎地域の活動やボランティアは、やらなければならないという義務感や負担感を押し付けられてしまうとやりにくくなるので、楽しい気持ちで継続的に、地域の課題が解決できるような仕組みをつくりたいです。
- ◎親子サロンの参加者の中から、子どもが大きくなったので、サロンを手伝いたいという声が聞かれるようになりました。

<東日本大震災～今わたしたちにできること>

被災地支援ボランティアバスへの
参加・協力ありがとうございました!

10月11日(金)20時30分、今年最後のボラバスに乗った40人が、総合福祉会館を出発しました。見送りには、吉田市長も駆けつけてくださいました。

今回は、被災地で生活をしている人を対象にコーヒーを飲みながら、おしゃべりを楽しむサロン活動をしました。

東日本大震災発生1カ月後の4月19日、岩手県釜石市の市営球場「昭和園グラウンド」に、市内で最初の仮設団地が作られました。

ここには、津波で家を失い、体育館などの避難所で生活していた人の中から、障害がある人や、支援が必要な高齢者、子育て世帯などが優先して入居しました。

現在は、約100世帯、200人が生活しています。大半が高齢者ですが、子育て中の世帯もあり、子どもの声も聞こえています。

釜石では、最初の復興住宅50戸がようやく完成し、引っ越しが始まりました。仮設住宅で生活している3,000世帯の全員が復興住宅に移り終えるには、最低でもあと3年が必要になるようです。

昭和園仮設団地からも、2世帯の引越しが決まりました。引越しを控えている人に、生活支援コーディネーターは「復興住宅に移ったら、もう被災者じゃないんだよ。復興者なんだから」と声を掛けていました。

生活支援コーディネーターは、仮設住宅での「ひきこもり対策」に工夫を凝らしていますが、反応してくれるのは特定の人だけで、苦勞が絶えません。

サロンよこすかは、そのような人たちにいい刺激になると話してくれました。

昨年に引き続き今回も、昭和園仮設団地のすぐ隣にある昭和園クラブハウスと、少し離れた上中島仮設団地で、サロン活動をしました。当日の土曜日は、前日からの雨もやみ、強風ながら晴れ間も見える中、持参した布おもちゃ、ハンドニットの手作り品のほか、おもちゃの病院、絵てがみづくり、餅つき、傾聴など、参加された方々と横須賀のボランティアたちが、一緒に楽しい時間を過ごすことができました。

サロンに参加された釜石の皆さんの声

- 自宅、田畑はすべて流されてしまい、家のある人との差を感じる今日この頃です。あまり出歩かないので、同じ仮設団地に住んでいながら、普段顔を合わす機会がない方々とも話ができて、しあわせに感じました。
- 遠方から、わざわざおいでいただき、温かい支援と、何よりもこんなに気に掛けていただき、「元気にならなければ」「復興させなければ」と切に思いました。

- サロンよこすかの皆様、多数でおいでくださりありがとうございます。何よりも、皆様の、私どもに対する接し方に、自然に笑顔になりました。人のやさしさにふれてうれしかったです。

- ていねいに作られた作品がたくさん並び、保育園児も先生方も非常に表情が良く、本当に良い催し物だと思いました。美味しいものもたくさん用意して本当にご苦労さんでした。

今回のサロン活動で感じたのは、仮設住宅に入居している方々が相当に疲れていることです。サロンに参加された方の中には、津波ですべて失い、長らく仮設暮らしが追い打ちとなって、復興の遅れに対するいら立ちや、切迫した心情を話す方もいました。一日も早く心穏やかな生活を送ることができるよう、今後も支援が続きます。

東日本大震災義援金に
ご協力ありがとうございました

神奈川県共同募金会横須賀市支会では、東日本大震災の義援金を受け付けています。

※義援金受付期間：平成26年3月31日まで

募金状況(11月30日現在)

18,994,852円

ご寄付いただきました

ボランティアバスの運行に際し、
多くの方からご支援をいただきました。

<ご寄付いただいた方々> ※順不同・敬称略

新舞踊 八法会、よこすかさかな祭り実行委員会、横須賀
魚市場 代表取締役社長 府川一雄 (9月1日～11月30日)



AD.MIND Co., Ltd.
Design Production Company

最良の結果を導き出す良きパートナーでありたい。

当社は、ワンストップ・トータルデザインサービス企業として設立いたしました。お客様のニーズに最大限お応えするためにお客様との厚みのあるコミュニケーションを最重要と考え、プロセスひとつひとつに“想い=マインド”を込めています。

企画 デザイン(Graphic・Web) 撮影

eBook 3DCG Movie 印刷

〒239-0807 横須賀市根岸町3-14-25 グレイス5/1F
TEL.046-838-0555(代) FAX.046-834-3331

株式会社 アド・マインド

E-mail: contact@admind.jp

URL: http://admind.jp

横須賀市社協の福祉活動を応援してください!

賛助会員募集中!!

横須賀市社協では、賛助会員を随時募集しています。

賛助会員は、市社協が地域福祉を進めていくための取り組みに対して、ご賛同いただける方々に会員としてご加入いただき、その会費を事業に活用させていただくことで、ご支援をいただくものです。

毎年度、賛助会員のみなさまのおかげで、充実した広報活動やボランティア関連事業を展開しています。みなさまのご支援をお待ちしています!

賛助会員のみなさまのご支援で次の事業を行っています

- 社協だよりの発行(年4回)
- ホームページの運営
- ふれあいキャンプ
- ボランティア体験
- おもちの病院



ふれあいキャンプ (平成25年8月10日・11日)

賛助会員のご紹介

★ 団体(3団体)
浦賀地区ボランティアセンター、(有)川口包装、
(株)エバーグリーン

★ 個人(21人)
吉村久子、廣部栄子、瀧野英子、泉田桂子、小
崎幸枝、倉科睦子、吉原玲子、田中靖子、砂
場愛子、飯田洋介、藤間信明、福本洋子、渡
辺秀子、松田立峰、樋熊教幸、樋熊美智代、
樋熊愛子、相馬昭仁、佐藤良美、佐藤由利子、
平田初枝

平成25年9月1日～11月30日
〈順不同・敬称略〉

*旧三浦藤沢信用金庫の振込用紙をお持ちの皆様
平成26年4月以降は、新名称「かながわ信用金庫」の振込用紙に
切り替わります。お早めにご変更の方は、お手数ですが市社協までご
連絡願います。

TEL 82(1)301 / FAX 82(7)0264
Eメール shakyo@w97.so-net.ne.jp
※会費は年度会費(4月～3月)
となっており口数は何口でも結構です。
〒238-0041 本町2-11 総合福祉会館2階
横須賀市社会福祉協議会 総務課

☆加入方法☆

お名前とご住所を、電話・はがき・FAX・Eメール
等でお伝えください。かながわ信用金庫(旧三浦藤沢信
用金庫)と湘南信用金庫の振込用紙を送付させていただ
きます。(両信用金庫のご協力により振込手数料が無料
になります)

賛助で参上!
社協活動応援団



年金無料相談会

毎月第2日曜日 午前10時～午後4時【予約制】

社会保険労務士の先生に年金に関する相談が無料で受けられます。お気軽にご相談ください。

老齢給付

もうすぐ60歳になる方
もうすぐ65歳になる方

遺族給付

一家の大黒柱が
亡くなったとき

障害給付

病気やケガで
障害が残ったとき など

会場: 本店営業部中央駅前出張所
2階「お客様相談室」



成年後見はじめて講座 & 参加者募集!!

第5期 よこすか市民後見人養成研修事前説明会

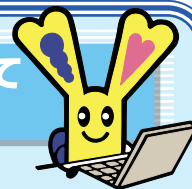
「成年後見はじめて講座」では、成年後見制度のしくみやどんな場面で必要になるのか、わかりやすく説明します。
この講座と合わせ、平成26年5月開講予定の「よこすか市民後見人養成研修」の事前説明会も同時開催します。

- 【日 時】 3月8日(土) 13時30分～
- 【場 所】 総合福祉会館2階 市社協第2会議室
※公共交通機関をご利用ください(京急汐入駅徒歩6分/JR横須賀駅徒歩約8分)
- 【定 員】 50人程度
- 【参加費】 無料
- 【参加要件】 横須賀市在住・在勤・在学の方(年齢は問いません)
※『第5期よこすか市民後見人養成研修』は、横須賀市に住民登録がある20歳以上70歳未満の方(申込み時)
- 【申込方法】 申込書に必要事項をご記入の上、FAX・Eメール・郵送・窓口提出にて<3月3日(月)必着>
※チラシ・申込書は、市社協窓口のほか、市役所市政情報コーナー、各行政センター、役所等にあります。
市社協ホームページからダウンロードもできます。
- 【問い合わせ】 市社協あんしんセンター TEL. (821) 3605まで

シリーズ 成年後見

第8回

活躍が期待されている市民後見人



「市民後見人」を、ご存知ですか?

「市民後見人」とは、弁護士や司法書士などの国家資格はなくても、社会貢献への意欲があり、倫理観が高い一般市民の中から、成年後見に関する一定の知識・態度を身につけ、家庭裁判所から選任された成年後見人等のことです。ドイツ、イギリス、スウェーデンなどでも、多くの市民後見人が活躍しています。

日本では平成24年4月に老人福祉法第32条の2に、市民後見人の養成・活用について市町村の努力義務が新たに盛り込まれてから、取り組みが広がっています。横須賀市と市社協は、県内でも先駆的に平成19年度から4期、計13人の市民後見人候補者を養成し、うち12人が活動してきました。

全国的にも成年後見申立件数は年々増加し、昨年一年間で約3万5千件(前年比10.5%増加)にも及んでいます。「後見爆発」と表現されるほど、今後も申立件数は増え続けることが予想されるとともに、弁護士や司法書士、親族などに成年後見人等になってもらうことが困難な人の急速な増加も、社会的な問題として危惧されています。

このようなことから、成年後見人等の担い手として、市民後見人の活躍がますます期待されます。

あなたも、「よこすか市民後見人」として活躍してみませんか?

各専門職後見人団体では、申立て手続きの代行・助言・情報提供等、相談を行っています。

- ◆横浜弁護士会 みまもりダイヤル TEL.045(211)7720
- ◆かなさぼ(行政書士) TEL.045(222)8628 (月～金:13時～16時)
- ◆リーガルサポート(司法書士) TEL.045(663)9180
- ◆ばあとなあ(社会福祉士) TEL.045(314)5500 (火・木・土:14時～17時)

※お住まいの地区の「地域包括支援センター」でも成年後見制度の相談ができます。



市社協あんしんセンター(TEL.821-3605)では成年後見制度の説明・相談等を行なっています。

一日無料体験授業開催中!!

イトマンの授業を一度体験してみませんか?

●対象/全クラス

初めてイトマンの授業を受けられる方

※水泳に不適格な疾患のない方

電話予約制・お一人様1回限り

定員に限りがございます。お申し込みはお早めに!



正会員入会特典

1日無料体験授業受検後
正会員になられた方は

入会金
0円!



幼児・ジュニア クラス	水着+ スクールバック
ベビークラス	ヘルパー+ スイミングキャップ
大人クラス	ゴーグル+ スイミングキャップ



イトマンスイミングスクール横須賀校

横須賀市日の出町3-11

☎046-823-6170

イトマンスイミングスクール

検索

webでは24時間受付しております。





フッピーのよこすか探訪：
宿泊体験の会場・武山小学校体育館

よこすかボランティアセンター

場 所 〒238-0041 横須賀市本町2-1 総合福祉会館4階
開 所 月曜日～金曜日 8時30分～17時15分(土・日曜日と祝日は休み)
電 話 (821) 1303 (825) 0017 / FAX (824) 8110
E-mail shakyo-v@abox22.so-net.ne.jp
ホームページアドレス <http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc/>
※ボランティア等の申込み・問合せ先を明記していないものは、
よこすかボランティアセンターが窓口です。

学校体育館で宿泊体験 ～寒さ(さむさ)を体感～

災害時に
備えて!!

地震災害が起きると、多くの人たちは「震災時避難所」へ避難することになります。現在、横須賀市が指定している震災時避難所は学校の体育館です。

今回は、武山小学校にご協力いただき、体育館で夜を明かす体験をとおして避難所での生活を考えます。

▶交流・宿泊コース

<内 容>さまざまな人たちがひとつの場所に避難し、宿泊体験をします。
<日 時>1月18日(土)17時から19日(日)7時まで
<集合場所>武山小学校 <定 員>50人(抽選)

【交流・宿泊コースのお申込み】

→電話、FAX、Eメールでボランティアセンターまで。

▶外国人支援・宿泊コース

<内 容>災害時に外国人が直面する課題について学び、理解を深めます。
<日 時>1月18日(土)14時から19日(日)7時まで
<集合場所>武山コミュニティセンター <定 員>30人(抽選)

【外国人支援・宿泊コースのお申込み】

→電話、FAX、Eメールで横須賀市国際交流課まで。

★共通事項★

<宿泊場所>武山小学校
<対 象>防災や災害活動に関心のある人で、健康上、体育館での宿泊に問題のない小学生以上(中学生までは保護者と一緒に参加)の方
<参加費>500円(保険・食事代として)
<持 ち 物>食器、寝具(防寒用の毛布、寝袋等)その他寒さ対策に必要なものなど
<申込締切>1月6日(月)



主 催：横須賀災害ボランティアネットワーク、
NPO 法人横須賀国際交流協会、横須賀市

第9回 ボランティアフェスタよこすか

日 時：平成26年3月9日(土) 10時30分～15時30分

場 所：総合福祉会館 4階点字図書館 5階各会場

内 容

"であい、ふれあい、たすけあい"をキャッチフレーズに、横須賀を拠点に活動をしているボランティア団体の活動紹介をします。

「ボランティア活動をしたいが、どんなボランティア活動があるんだろう?」と考えていられる方、もしかしたらあなたにぴったりのボランティア活動が発見できるかもしれません。新たな仲間は大歓迎で、「おもてなし」の心でお迎えいたします。ぜひお出かけ下さい。



≪歌・踊り・演奏・マジック・けん玉等のパフォーマンス≫

≪パネル展示・地域作業所製作品の販売、飲食ブース≫

≪サウンドテーブルテニス体験≫

(入場自由)

主 催：横須賀市ボランティア連絡協議会

後 援：横須賀市社会福祉協議会

問い合わせ：よこすかボランティアセンター

住宅ローン・消費者ローン等のご相談・お申込は 湘南しんきん各ローンセンターへ

ローンセンターは休日も営業しております。

■本 店ローンセンター 0120-413-357

■上大岡ローンセンター 0120-470-417

SHONAN

湘南信用金庫

ホームページアドレス
<http://www.shinkin.co.jp/shonan>

『若年性認知症』 ～よこすかのつどい～

介護家族が集まり、悩みを語りあひながら、介護に関する工夫や情報交換、勉強会などを行うとともに、本人たちの交流もあります。支援してくださる方の参加もお待ちしています。

日 時：2月22日(土)11時～15時30分

場 所：総合福祉会館 5階視聴覚研修室

申込方法：氏名・年齢・電話番号をお知らせ

ください。＜2月15日(土)締切り＞

(公益社団法人)認知症の人と家族の会神奈川県支部

TEL/FAX 044-522-6801

認知症は、高齢期の病気ではなく、最近では働き盛りの人の発症が増えています。若年性認知症の方と家族は、高齢期とは異なる多くの課題を抱え、閉鎖的になってしまいがちです。主な介護者一人が悩みを抱え、地域社会にあっても孤立してしまうことも多くあります。認知症を正しく理解し、温かい支援をいただくことは、認知症の方が住み慣れた地域で、明るく楽しい生活を続ける大きな力になります。



お気軽にご相談下さい

秘密厳守

※場所はいずれも総合福祉会館2階です。相談日が祝日に当たる時はお休みとさせていただきます。／12時～13時はお昼休みとさせていただきます。

生活福祉資金貸付相談

所得の低い世帯、お年寄りや障害のある方の世帯を対象に、安定した生活を送ることができるよう資金貸付の相談を行っています。

【資金について】

- ①お困りの内容によって資金の種類が異なります(一般生活費の貸付けはありません)。
- ②資金の種類によって民生委員による相談援助が行われます。
- ③原則として連帯保証人が必要です(市内在住の方)。

【予約制】窓口の相談は混雑していますので、お越しいただく前に必ず電話でご連絡ください。

●毎週月～金曜日

9時～11時30分・13時～16時
予約はTEL(821)13001
地域福祉課 生活福祉資金担当

介護相談

福祉機器や介護について介護福祉士がお答えします。

●毎週月～金曜日

10時～16時 福祉機器展示場
電話相談TEL(824)9436

住宅改造相談

ちょっとした工夫や改造をすることで、暮らしやすい家になることができます。

障害者や高齢者のより住みやすい環境をつくるために、神奈川県建築士事務所協会の建築士が相談に応じます。

【予約制】

●毎月第4水曜日

10時～15時 市社協相談室
予約はTEL(823)0386
神奈川県建築士事務所協会
横須賀支部へ
受付時間10時30分～17時

あとがき

今回の年末年始は、いつもと様子が違う。今までは毎年恒例で、鳥取の夫の実家へ家族六人で出かけゆつくり過ごしていた。今年は長女が高校受験を控え、私も仕事のため一緒に行けなくなつた。夫と小学生の子ども三人で鳥取へ、私と長女は留守番。

子どもが成長するにつれ、いざそんな日が来ると思っていたが、いざそうなると、少し寂しい。

長女が生まれてからの十年は、あつという間に過ぎ去つた気がする。自分の時間もなくなり子どもの世話に追われ、毎日の繰り返し。

ありがとう

社会福祉のために、温かい寄付がありました。

(敬称略)

平成25年9月1日～11月30日

(株)根岸工務店、船橋珠枝、栗田敏彦(公財)横須賀市健康福祉財団、玉井歌謡塾玉井明、横須賀落語愛好会、浦賀・久里浜第一地域包括支援センター、大津二丁目老人生きがいの家、JAよこすか葉山虹の会、山本明、船越七丁目梅友会・船越七丁目第二梅友会、天空の街自治会「若葉会」、田浦郵便局社員一同、あゆみの会

寄付金 23件
物品 27件

一、二六九、六五六円

大塚台小学校、徳嶺啓子、清水君子、田浦介護保険サービスセンター、長谷川実和佳、松生キヨ子、古敷谷景子、手話ダンスグループ「ゆらぎ」、三春町地区ボランティアセンター、横川和司、大津地区ボランティアセンター、三春町地区ボランティアセンター、本町デイサービスセンター、クロスロード、鈴木芳子、武谷広子、大橋地区ボランティアセンター

返しを精一杯過ごしていた。いつになつたら大好きな縫い物ができるのだらう。ゆつくりお風呂に入りたいたい。ごはんも座って食べたい。おしゃべりも出て出かけた。なんて思っていた。

子どもが幼稚園に行くようになり、ママ友もでき、ランチを楽しんだ日もあった。束の間の息抜きをしながらも四人の子どもの世話に、パートの仕事に忙しく一日を過ごした。

長女が中学生になつた途端、長女の気配が家の中から消えた。朝から晩まで部活動に明け暮れ、土日も夏休みも家にいることはなかった。思春期も重なり会話もなく、「どうしたものか」と悩んだ日もあった。

子どもたちに少し手がからなくなつてきた。運動会も三人まとめて一回で終わり、中学生の長女は「お母さん来なくていいから」とあっさりしたものだ。思春期のイライラも少し落ち着きやれやれと思う。あと三人分の思春期に付き合つのかと思うと少しゾッとするが……。子どもは成長とともに、私の生活はこんなにもバラエティに富んだものになった。楽しいこと、辛いこと、腹が立つこと、悲しいこと……本当にいろいろなことがあり、これで良かったのかとも思いつながら、充実した時間を過ごしてきた。これからどんなことが起こるのか楽しみに、新しい年も頑張らなくっちゃと思う。

(き)